

発言No. 10

受付No. 12

令和5年2月15日

10時00分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 16番

氏名 芦谷英夫

答弁を求める者

(○をつける)

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1、人口定住施策の推進について

- ① これまでのシングルペアレントUターン事業、地域おこし協力隊、石見音楽文化振興会事業など、それぞれの浜田市へのUターン者のうち、現在も定住している人数はどのくらいで、どう定住が進んでいるのか、定住が進まなかった要因をどのようにとらえているのか。
- ② 三隅発電所が本格稼働したが、そこに働く従業員は300人とも400人ともされているが、定住状況はどうなのか、家族持ちで住宅に住む人、単身で寮などに入居する人などの実態はどのようになっているのか。

2、大学などをいかした市政推進について

- ① これまで、大学との共同プロジェクトなどどのようなものがあって、どのようにいかして、市政を推進してきたのか、具体例を挙げて説明いただきたい。
- ② 人口定住対策を進めるためには、各専修学校の定員を確保すること、専修学校への支援が重要であるが、4月入学者見込みはどのようになっているのか。

3、協働のまちづくりを推進する具体的な施策について

- ① 協働のまちづくりを進めるためには公助の責任が重要であるが、地域からの要望事項提出の仕組みを復活してはどうかと質問し、市長から「検討する」と答弁されているが、その後の状況はどうか。
- ② 協働のまちづくりを進めるためには、その基盤、足下をきちんと整える必要があり、自治会町内会の加入率を75%と推計されており、一方、社会福祉協議会の加入率は72%であるが、これらをも高めるために具体的にどのような対策を講じてきて、これからどうするのか。
- ③ まちづくりセンター職員体制の拡充、開館時間の延長、土日の開館など協働のま

ちづくりが進む体制をつくる必要があるが、どのようにするのか。

- ④ 協働のまちづくり推進には、地域のあらゆる資源、人材の参画が必要であるが、自主防災組織の機能を高める、活動領域を広げる、住民の理解と協力を得る、という視点から、益田消防、出雲消防などで取り組んでいる、消防団員のOB会の組織化を進めてはどうか。

4、市民の社会参加を進め、快適な環境整備について

- ① 公園、スポーツ施設などの洋式トイレの設置はどのようになっているのか。
- ② 公共施設、まちづくりセンターなどでのスロープ、手すり、洋式トイレなどバリアフリー化はどのように整備されているのか、未整備のか所はどの程度あるのか。

5、歴史文化施策の推進について

- ① 市史編纂の計画はどのようになっている、その進捗状況はどのようになっているのか。
- ② 教育委員会が支援をして津和野藩物語、中世益田物語などが発刊されているが、浜田藩物語の発刊について、市としてどのような支援を行うのか。

—以上—